2020年6月24日

各　位

所在地　東京都渋谷区円山町3番6号
会社名　株式会社ギガプライズ
代表者名　代表取締役社長　梁瀬泰孝
（コード番号 3830 名証セントレックス）
問合せ先　取締役　植田健吾
電話番号　０３－５４５９－８４００（代表）

支配株主等に関する事項について

当社の親会社であるフリービット株式会社について、支配株主等に関する事項は、以下のとおりとなりますので、お知らせいたします。

記

１．親会社、支配株主（親会社を除く。）またはその他の関係会社の商号等

（2020年3月31日現在）

名称	属性	議決権所有割合（%）			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
フリービット株式会社	親会社	58.34	―	58.34	株式会社東京証券取引所市場第一部

２．親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

（１）親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的関係、資本関係等

フリービット株式会社は、当社議決権の58.34%を直接保有する親会社であり、「Internetをひろげ、社会に貢献する」という企業理念の下、「インフラテック事業」、「不動産テック事業」、「アドテク事業」、「ヘルステック事業」、「エドテック事業」等を展開しております。

当社グループは、フリービットグループにおいて「不動産テック事業」に分類される事業を展開しており、また、同社の経営戦略「成長領域に注力した新分野への進出と継続的発展」においては、「不動産Tech」領域での事業拡大を担うグループとして位置付けられております。

取引関係については、当社グループとフリービットグループとの間で、インターネット接続サービス、クラウドサービス等の各種取引が行われておりますが、記載すべき重要な取引はありません。

人的関係については、2020年6月24日現在、当社取締役9名のうちフリービットグループの役職員との兼務者が4名、当社監査役4名のうち、フリービット株式会社の役職員との兼務者が1名であります。

（役員の兼務状況）

役職	氏名	親会社等またはグループ企業での役職	選任理由
取締役	清水　高	・フリービット㈱ 取締役副社長兼執行役員 ・フリービットインベストメント㈱ 代表取締役社長 ・フリービットスマートワークス㈱ 代表取締役社長 ・㈱ベッコアメ・インターネット 代表取締役社長 ・㈱フリービット EPARK ヘルスケア 取締役 ・㈱ドリーム・トレイン・インターネット 代表取締役社長 ・㈱アルク 取締役	フリービットグループにおいて各役職を歴任していることから、経営及び事業戦略に関する豊富な経験と知見を有しており、広範かつ高度な視座より経営全般に対する助言等を当社経営に反映させることを目的に選任
取締役	友松　功一	・㈱フルスピード 代表取締役会長 ・㈱フォーイット 取締役 ・FULLSPEED TECHNOLOGIES INC. Director ・㈱フルスピードリンク 取締役 ・上海赋络思广告有限公司 董事 ・㈱クライド 取締役 ・㈱ジョブロード 代表取締役社長	フルスピードグループでの経営及び事業戦略に関する豊富な経験と知見を有しており、広範かつ高度な視座より経営全般に対する助言等を当社経営に反映させることを目的に選任
取締役	和田　育子	・フリービット㈱ 執行役員兼グループ経営管理本部長 ・㈱フリービット EPARK ヘルスケア 監査役 ・㈱アルク 取締役	フリービット㈱の執行役員兼グループ経営管理本部長として情報管理体制の強化や人材育成を推進しており、当社コーポレートガバナンスの更なる推進・強化を目的に選任
取締役	村城　輝久	・フリービット㈱ コーポレート企画部部長	フリービット㈱のコーポレート企画部部長としてグループ会社管理の中核を担っており、当社グループ経営の強化を目的に選任
監査役	岡本　真哉	・フリービット㈱ 法務総務部部長 ・㈱アルク 監査役	企業実務（法務・総務業務）において豊富な経験を有しており、その中で培われた知見を基に、より実践的な視点で当社取締役の職務執行を監査することを目的に選任

（２） 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット

当社グループは、フリービット株式会社の企業グループに属することにより、同社の保有するインターネットバックボーン等のインフラストラクチャ及びネットワーク技術力やその他事業基盤等を、当社グループの展開する集合住宅向け ISP 事業、ネットワークサービス事業に有効活用する等、グループメリットを享受しておりますが、事業活動を行う上での承認事項等フリービットグループ等からの制約はありません。なお、資本的な関係から当社の経営方針等については、一定の影響を及ぼし得る状況にあります。

（３） 親会社等からの一定の独立性の確保に関する考え方及びその施策

当社グループは、フリービットグループにおいて「不動産テック事業」に分類される事業を展開しており、これら事業を営むことにより独立性の確保に影響を及ぼす可能性もあることから、営業形態や事業内容が重複しないよう心がけており、事業展開にあたっては、フリービット株式会社等の指示や事前承認によらず、独自に経営の意思決定を行っており、経営の独立性は確保されているため、自由な事業活動を阻害される状況にはないと考えております。

また、当社は業界動向及び経営に関する情報を共有することを目的として、フリービット株式会社より兼任役員が就任しておりますが、当社取締役９名のうちフリービットグループの役職員との兼務者が４名と半数に至る状況にはなく、独自の経営判断が行える状況にあると考えております。なお、経営の独立性を担保する観点から、フリービットグループ以外から社外取締役２名を登用しております。

３．支配株主との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社グループの営業取引におけるフリービットグループへの依存度は極めて低く、ほとんどが当社グループと資本関係を有しない一般企業との取引となっております。また、当社がフリービットグループと取引を行う場合においては、少数株主保護の観点から、市場価格を勘案し価格交渉の上、一般的取引条件と同様に決定しており、資本的な関係による特別な取引はございません。

以　上